



色鮮やかなエイブル・アートの数々

優しさと元気があふれる

「工房てんとう虫」作品展

障害者作業所「工房てんとう虫」のエイブル・アート(可能性の芸術)作品展が4月7日から5月9日まで、川崎公民館2階ギャラリーで開催されました。

「工房てんとう虫」は「明るく生きる」をモットーにアート創作活動などに取り組んでおり、今回「春のミニギャラリー」として初めての個展を開催。期間中、前期・後期と展示作品を入れ替え、絵画約50点が展示されました。女性4人の共同作品「あれみよミュージアム」が来場者を出迎え、癒しの空間を演出していました。



バッティングフォームの指導を受ける中学生

素振りの基本を伝授

山内一弘少年野球教室

元プロ野球選手の山内一弘さんが5月3日、川崎運動広場で行われた第19回両磐地区選抜中学校野球大会兼山内一弘杯野球大会に出場した選手約20人に、バッティングのフォームなどを指導しました。参加した選手は、真剣な表情で山内さんの言葉に耳を傾け、基本となる水平振りなどを確認してもらい、振りのコツをつかもうと一心不乱にバットを振っていました。

同大会は現在の名称となって4回目。併せて野球教室も催され、プロ直伝の手ほどきを受けています。

景色楽しみさわやかに汗

石蔵山でウォーキング

春の健康づくり恒例イベントの石蔵山ウォーキングが4月29日、石蔵山を会場に行われ、35人が参加しました。

始めに石蔵山林間広場で健康運動指導士の鈴木順子さんの指導により、全員で念入りにストレッチ。芽吹き始めた石蔵山の散策路を約1時間ほどウォーキングし、さわやかな汗を流しました。

ウォーキングのほか、美術講師の菅原恵美子さんがスケッチの講師を務め、仲間との触れ合いやスケッチなど思い思いに楽しみました。石蔵山の桜はまだつぼみでしたが、ヤマブキやカタクリの花が見ごろを迎え、新緑の野山に春の彩りをそえていました。



山頂からの眺望を楽しみ一息つく参加者

やったぜ!釣れた!

砂鉄川釣り大会開催

砂鉄川に親しむ集い実行委員会などが主催する砂鉄川釣り大会が5月4日、砂鉄川門崎橋付近で開催されました。親子連れなど約200人が集まり、初夏を思わせる陽気の中、川釣りを楽しみました。

今回で13回目を迎えたこの集い。川に親しんでもらおうと、まず全員で河川敷のゴミを拾い、水中生物についての講話が行われた後、いよいよ釣り大会が始まりました。前日放流された約3000匹のニジマスと格闘すること4時間。子どもも大人も夢中になって竿を操り、大物を狙いました。



親子連れなどでにぎわった釣り大会



雨上がりコースに悪戦苦闘

とんそくトライアル大会開催

友好都市の埼玉県吉川市からも参加

とんそくトライアル大会(村田睦夫代表)が5月7日、室根高原スキー場跡地周辺で開催されました。

25人の参加者は3クラスに分かれ、10のセクションを3周、減点方式で競いました。こう配もきつく、岩や木などの障害物が多くあるコースを、選手はラインを見極め、巧みなテクニックでクリアしていました。

各クラスの優勝者は次のとおりです(敬称略)。ホルモンクラス(初級)=高橋るみ、とんそくクラス(中級)=下田洋紀、上カルビクラス(上級)=及川雅行。



上山流田植え踊りを披露する保存会

田植え踊りで豊作祈願

蟻塚公園で郷土芸能春まつり

蟻塚公園特設ステージで4月29日、郷土芸能春まつりが催されました。

地元郷土芸能団体5団体が参加し、晴天の中、打ちばやしの演奏や、田植え踊りなどが演じられました。中でも、屋中の子ども打ちばやしでは、子どもたちの一生懸命に演奏する姿には、会場から多くの声援が送られていました。

このまつりは室根山観光のイベントの一つとして、昭和55年ごろから毎年開催されています。



快晴の中登山を満喫

県内トップで室根山山開き

県内のトップをきって4月23日、室根山山開きが行われました。

蟻塚公園で行われた開会行事では、小山地域自治区長が「いつまでもきれいな山であるようみんなで大切にしていきたい」とあいさつ。テープカットの後、室根創作太鼓の会「鼓」の演奏を合図に、県内外から集まった約200人が一斉に登山を開始。八目目の室根神社で安全祈願を行った後、山頂まで登り、四方に広がる眺望を満喫していました。

山開きに合わせ、きらら天文台がオープン。オープン記念として無料開館し、大勢の入館者でにぎわいました。



太鼓演奏を合図に登山を開始する自然愛護少年団

道路の危険を実体験

浜横沢小児童が交通安全教室

浜横沢小学校(久保田精喜校長・児童47人)は4月28日、千厩自動車学校で交通安全教室を催しました。

児童は4部門に分かれ、自転車の乗り方や道路の歩き方、信号の渡り方などを教習コースで学習しました。同校では毎年、千厩自動車学校の協力を得て交通安全の大切さを学んでいます。参加した児童は、車道への飛び出しの危険や、車との衝突を模擬体験。「楽しかった」「飛び出した人形がはねられてびっくりした」「自転車の後方確認が分かった」など、楽しく学んでいました。



元気に手を上げて横断歩道を渡る児童